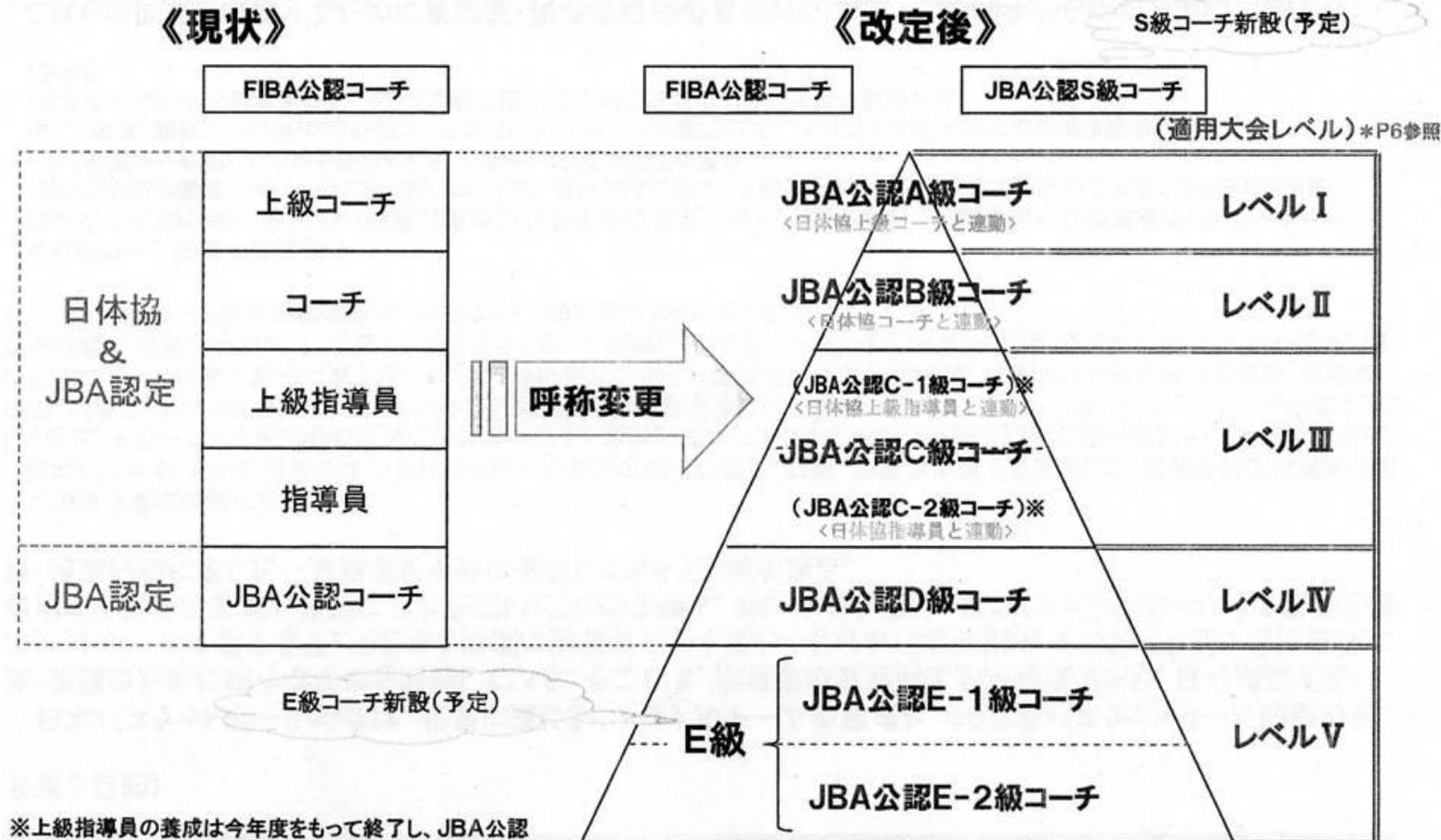


2. コーチライセンス制度 全体像



JBAコーチライセンス制度改定案



※上級指導員の養成は今年度をもって終了し、JBA公認C-1級コーチにはB級の取得を推奨する。その後2015年度以降はC-1、C-2の呼称を「JBA公認C級コーチ」に統一する。

4. 大会のレベルと必要資格



JBAコーチライセンス制度改定案

公式戦をレベル分けし、レベル別に必要資格の基準を定める。
ベンチで指揮をとる（スコアシートにサインする）コーチは必要資格を保有していることとする。

レベル	範囲	大会	必要資格	対処（特別措置）
レベルⅠ	国際大会	日本代表戦	JBA公認A級コーチ以上	
レベルⅡ (要検討)	トップリーグ	JBL、WJBL、bjリーグ	JBA公認B級コーチ以上	
レベルⅢ	全国大会 各種別ブロック大会	天皇杯・皇后杯（オールジャパン）、全日本社会人選手権、全日本実業団、全日本クラブ、インカレ、インターハイ、ウインターカップ、全中、全国ミニ、国体、マスターズ、ジュニアオールスター、全日本教員、全国高専、全国専門学校、全日本クラブシニア、全日本クラブスーパーシニア、全国ママさん、および各種別ブロック大会	JBA公認C-2級コーチ以上	<ul style="list-style-type: none"> ・受講中の場合は認める。 ・チーム就任1年目に限り免除とする。 ※但し、国体（ブロック国体含む）は資格保有を必須とする。
レベルⅣ	都道府県大会	都道府県大会 ※但し、地区大会（予選）が行われない都道府県大会は各都道府県協会が定めることとする。	JBA公認D級コーチ以上	<ul style="list-style-type: none"> ・受講中の場合は認める。 ・チーム就任1年目に限り免除とする。
レベルⅤ (要検討)	上記以外の公式戦 （都道府県内地区大会）	全国定通制大会	JBA公認E-1級コーチ以上	<ul style="list-style-type: none"> ・受講中の場合は認める。 ・チーム就任1年目に限り免除とする。 ※バスケットボールを専門としない引率者（顧問）のみJBA公認E-2級コーチでも認める。

*適用大会については、今後各連盟と協議し、最終決定する。

6

6. 段階的施行



JBAコーチライセンス制度改定案

2011年より一部改定を行い、5年後の2015年に完全施行を目指して段階的に施行する。

	実施内容	大会参加条件
2011年度 ▼ 1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・資格名称の変更 ・日体協上級指導員養成講習会の開催中止 	周知・徹底のみ (現行通り)
2012年度 ▼ 2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・JBA公認E-1級, E-2級コーチの養成開始(予定) 	周知・徹底のみ (現行通り)
2013年度 ▼ 3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・登録有効期間を1年間に(以後、1年更新) ・登録開始時期の統一(4月登録) ・試合会場でのコーチ証ぶら下げ開始 	持っていることが 望ましい。
2014年度 ▼ 4年目		原則として 持っていること。
2015年度 5年後	<ul style="list-style-type: none"> ・完全義務化 	必ず持っていること。